

原 著

成人歯科検診受診者の歯周病原性細菌に対する血中抗体価と Community Periodontal Index の関連性

鉛山ゆかり

概要：鹿児島県 A 町に居住する 40 歳以上の成人 183 名を対象に、歯周病原性細菌に対する血中 IgG 抗体価と歯周疾患の重症度との関連性について調査した。ELISA 法により *Aggregatibacter (Actinobacillus) actinomycetemcomitans* の各血清型 (a~e) の全菌体、および *Porphyromonas gingivalis* の全菌体、同精製線毛に対する IgG 抗体価を測定した。各々の抗原に対する抗体価間では、*A. actinomycetemcomitans* の各血清型に対する抗体価間すべてに有意な正の相関が認められ、c 型、e 型に対する抗体価は抗 *P. gingivalis* 全菌体抗体価とも有意な正の相関を示した。抗 *P. gingivalis* 線毛抗体価は *P. gingivalis* 全菌体抗体価と *A. actinomycetemcomitans* の a 型全菌体に対する抗体価に相関を示した。歯周病重症度とは *A. actinomycetemcomitans* の血清型 a と e の全菌体、*P. gingivalis* の全菌体、同線毛に対する抗体価が有意な相関を示した。*P. gingivalis* と *A. actinomycetemcomitans* はともに歯周病原菌として知られているが、その病態は異なっており、各々の菌に対する抗体価を併用することで、より正確な歯周病診断が可能になるものと思われる。

索引用語：歯周疾患、*Aggregatibacter (Actinobacillus) actinomycetemcomitans*、*Porphyromonas gingivalis*、血清型、血清抗体価